

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

建築基準

議案第 37 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

建設

市街化調整区域内において新たな地区計画として「尾崎町北条高校前地区地区計画」の都市計画決定を予定していることから、当該地区計画区域内における建築物の用途・敷地面積・壁面の位置・建築物の高さなどに関する基準を追加するもの。

問 尾崎町北条高校前地区における住宅地のアピール点について。

答 市街地である北条地区に近いという交通の利便性が高いことと、県立高校が近いという学校関係の利便性に優れていることがアピール点になると考えています。



問 この地区に、ベルデしもさのように若い人たちを呼び込もうという視点はあるのか。

答 特に若者に限定することとはしていませんが、市の活性化と人口増につながることから、検討していきたいと考えます。

討論【賛成】 人口減少を抑えていくためにも、市街化調整区域での住宅開発の取り組みは極めて重要であると考えてるので、これまで以上に力を尽くしていただきたい。

補正予算

議案第 38 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について

総務 建設

【歳出】

- ・一般管理費〔青野ヶ原周辺整備事業委託料〕（500 万円）
- ・企画費〔コミュニティ助成事業補助金〕（250 万円）
- ・市民参画推進費〔高校生海外プロモーション推進事業〕（130 万円）
- ・健康推進対策費（50 万円）

問 青野ヶ原周辺整備事業委託料について。

答 実施設計と工事監理の委託については、実施設計の入札の際に合札入札を行い、工事監理も実施設

計の業者が行うことが一般的であり、費用も抑えることができます。しかし、平成 29 年度の補助事業内示がない段階での、合札入札や一体的な契約は好ましくないとの防衛省からの指示により、個別の入札となりました。このことから、今回の実施設計委託では、翌年度の工事監理は随意契約が可能である仕様として、費用を抑えようとしていましたが、事業者の辞退があったため、増額となりました。

問 神輿や屋台の修繕の補助における、コミュニティ助成事業と文化庁の補助事業の使い分けについて。

答 コミュニティ助成事業は、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目的とし、コミュニティ活動に必要な設備等について助成するもので、過去に神輿や屋台に対して助成した実績があります。一方、文化庁の補助金については、国の採択の要件上、屋台に対して助成した実績はありますが、神輿に対してはありません。地域の方々が相談に来られたときには、コミュニティ助成事業と文化庁の補助金を説明した上で、選択していただいています。



問 高校生海外プロモーション推進事業について。

答 北条高校の海外研修において、現地の学校でパワーポイントなどを使い、加西市の観光情報、風景、特産品などについて、英語で紹介していくものです。また、北条高校生がデザインしたウォーキングシューズや播磨農高生が育てた大豆でつくった醤油、加西市のお酒などを実際に見てもらうことで、現地の方にも加西市を知ってもらい、国際交流としても活発になるように取り組んでいきたいと考えています。



問 寄附金を活用して購入する健康増進用の器具について。

答 購入しようとしている血管年齢計は、これまで兵庫看護協会からお借りして測定していた月 1 回のモールウォーキングでの健康相談で利用していきます。また、健康福祉会館に備え付けてある血圧計と併設して、いつでも測定できるような活用方法も検討していきたいと考えています。

